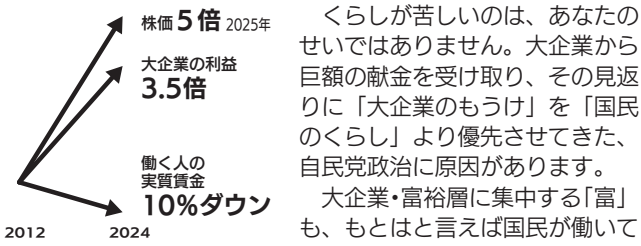


たつの の 広 志



くらし・平和・人権 ブレずにはたらく

くらし 大幅な賃上げ・消費税廃止めざし5%へ—大企業・富裕層の負担で



くらしが苦しいのは、あなたのせいではありません。大企業から巨額の献金を受け取り、その見返りに「大企業のもうけ」を「国民のくらし」より優先させてきた、自民党政治に原因があります。大企業・富裕層に集中する「富」も、もとはと言えば国民が働いて生み出したもの。それを取り戻すのは政治の責任です。

- 中小企業支援で最低賃金すぐに1500円へ、1700円にする。
- 消費税廃止をめざし、いますぐ5%に。
- 自民・維新・公明の「医療費4兆円削減」は中止。

—財源は、過去最大の利益を上げている大企業への適正な課税でまかなえます。国債を乱発したり、政府系ファンドを創設する必要はありません。

平和 アメリカいいなりの軍拡やめ、自立した平和の外交こそ必要です

「力の支配」ふりかざすアメリカに従い、軍事費＝防衛費の2倍化、北海道へのミサイル配備、武器輸出の拡大、「台湾発言」による外交の破たん、「核兵器を持つべき」との政府高官まで—この先に平和はあるのでしょうか。

「軍事には軍事」の政治は変えられます。国連憲章と国際法にもとづく平和の秩序をつくる外交にチェンジ。周辺国には言うべきことは言いつつ、関係を平和的に打開する—憲法を真ん中にすえて、共同しましょう。

内政・外交で行き詰っている高市政権 「右へ右へ」と自民党政治にのみ込まれる政党も

物価高でも日中関係でも打開策がない自民党政治。高市首相の「政治とカネ」や統一協会との癒着などの疑惑も。国民のくらしは置き去りです。「中道」も、「安保法制」や原発再稼働、企業献金など自民党政治の中身を「丸のみ」。外国人排除を求める政党も。こんな「右へ右へ」の政治で国民の願いが届くのでしょうか。

自民党政治そのものを変える力 日本共産党を伸ばしてください

日本共産党は、高市政権に正面から立ち向かい、自民党政治を変え、国民のためにブレずにはたります。くらし・平和を守りたい、泊原発を止めたい、差別をなくしたい—この思いを一つにして、いっしょに政治を変えましょう。

だから 比例は日本共産党とお書き ください

プロフィール
●1957年壮瞥町生まれ。1983年国立室蘭工業大学11部電気工業科卒業。●1987年札幌市議会議員。●2007年洞爺湖町議会議員。●町議会議員36年。●日本共産党室蘭地区常任委員。●日本共産党北海道委員会役員。●妻と2人家族。●趣味 渓流釣り、アマチュア無線、読書